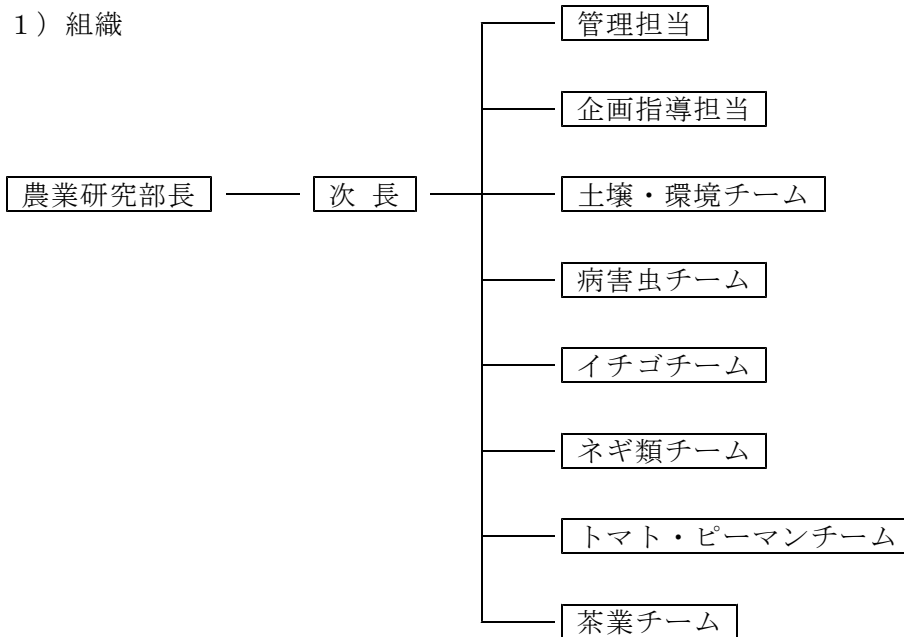


## Ⅱ－１ 農業研究部

### 1. 組織および職員配置状況

#### 1) 組織



#### 2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部長			1					1	
次長		1						1	
管理担当		5		1			1	7	
企画指導担当			7					7	広域普及指導員 4
土壌・環境チーム			6		1			7	
病害虫チーム			9					9	
イチゴチーム			6		1	1		8	
ネギ類チーム			4					4	
トマト・ピーマンチーム			5	1	1			7	
茶業チーム			2	1				3	
計		6	40	3	3	1	3	56	

## 2. 業務

- ①農産物の安全安心に関する研究
- ②環境に優しい農業生産技術
- ③病害虫管理技術及び土壌管理技術
- ④植物検疫、病害虫発生予察情報、気象情報等の情報発信
- ⑤イチゴ・ネギ類・いも類・トマト・ピーマン・茶等の品種選定・育種
- ⑥イチゴ・ネギ類・いも類・トマト・ピーマン・茶等の高品質、省力・低コスト栽培技術
- ⑦バイオテクノロジー手法を用いた品種判別技術
- ⑧農産物の安全安心・病害虫管理・各種野菜生産等に関する既開発技術の現地移転ならびに指導者・生産者に対する指導

### 3. 試験研究課題

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
<b>I 産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発</b>				
①ブランド化のための技術開発				
1 イチゴ新品種の育成				
1) 交配	イチゴチーム	病害虫チーム	H16～24	県単
2) 実生選抜	〃	〃	〃	県単
3) 系統選抜				
(1) 二次選抜	イチゴチーム		H16～24	県単
(2) 三次選抜	〃	病害虫チーム	〃	〃
(3) 四次選抜	〃	病害虫チーム、イチゴ品種育成支援プロ、山口県、九沖農研セ他	〃	〃
4) 生産力・特性検定	〃	病害虫チーム、イチゴ品種育成支援プロ	〃	〃
5) 地域適応性試験	〃	品種育成支援プロ、振興局	〃	〃
2 県育成品種（大麦、カンキツ、イチゴ）のDNA鑑定法の開発				
1) オオムギの品種判別	イチゴチーム	水田G	H24～25	県単
2) カンキツの品種判別	〃	果樹G	〃	〃
3) イチゴの品種判別	〃		H24	〃
②マーケット起点のものづくりを支える技術開発				
3 パッケージセンターと局所環境制御技術を活用した大規模高収益イチゴ経営モデルの構築				
1 局所環境制御等による生産安定技術の確立				
4) 灌水同時施肥と炭酸ガスの効率的施用による厳寒期の果実品質向上と増収技術				
(1) 施肥効果を判定するための基準作成（夏季）	イチゴチーム	土壌・環境チーム、佐賀県、九沖、長崎県、九電等	H22～24	国庫
(1) 施肥効果を判定するための基準作成（栽培期間中）	〃	〃	〃	〃
(2) 効率的な施肥技術の確立	〃	佐賀県、九沖、長崎県、九電等	〃	〃
(3) 炭酸ガス濃度制御方法	〃	〃	〃	〃
(4) 炭酸ガスの施用効果をも高める肥培管理	〃	〃	〃	〃

試験研究課題名					担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題	1) 小課題	(1) 試験項目					
2	規模拡大のための省力・低コスト化技術の確立							
	1) 作期分化に対応した省力育苗方法							
	(1) ランナー子苗を活用した省力・低コスト育苗	イチゴチーム	佐賀県、長崎県、九州、九電等	H22～24	国庫			
	(2) 低温処理育苗を利用した作型前進技術	〃	〃	〃	〃			
	(3) 先しばり果発生要因の解明	〃	〃	〃	〃			
	(4) マルチ後定植等の省力化技術における花芽分化促進方法	〃	〃	〃	〃			
	(5) 現地実証	〃	〃	〃	〃			
4	大分イチゴのブランド化を図るための「大分3号」の高品質、収量安定技術の開発							
	1) 「大分3号」の現地栽培支援	イチゴチーム	広域普及員、振興局、ブランド推進課	H23～25	県単			
5	安全生産技術に対する研究							
	1) 普通作物の病害虫防除対策							
	(1) 水稲病害虫防除の効率化、体系化							
	ア 水稲・大豆害虫の個別防除効果試験	病害虫チーム	豊肥振興局	H22～24	委託			
	2) 野菜類病害虫に対する薬剤選定							
	(1) 野菜類病害に対する薬剤選定（トマト・ピーマン・ネギ・ニラ）	病害虫チーム	中部振興局	長期	県単一部委託			
	(2) 野菜類害虫に対する薬剤選定（ピーマン・小ネギ・ニラ）	〃		H22～24	〃			
	(3) 野菜類害虫に対する薬剤選定ー2（生物農薬）（イチゴ・ピーマン）	〃		H22～24	〃			
6	有機農業適応技術の検証と品質への影響評価							
	1) 水稲に関する栽培技術支援							
	(1) 水稲における実態調査							
	ア 病害虫に関する実態調査	病害虫チーム	水田G、北部局、西部局	H22～24	県単			
	2) 野菜に関する栽培技術支援							
	(1) 野菜における現地実態調査	土壌・環境チーム		H22～24	県単			
	(2) 病害虫防除技術の検証及び開発							
	ア 畑作レタス	病害虫チーム	土壌・環境チーム、各振興局	H22～24	県単			
	(3) 緑肥作物等を利用した抑草技術	土壌・環境チーム		〃	〃			

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題	1) 小課題	(1) 試験項目		
4) 茶に関する栽培支援技術					
	(1) 有機質肥料の施用時期の検討	茶業チーム	中部局、広域普及指導班	H22～24	県単
	(2) 主要害虫に対応する散布可能な資材効果の把握	〃	〃		〃
5) 有機栽培（野菜）が土壌、微生物相、内容成分に与える影響					
	(1) 有機栽培（野菜）が土壌微生物相に与える影響	土壌・環境チーム		H22～24	県単
	(2) 野菜の内容成分と食味への影響調査	〃	別府大	〃	〃
6) 有機農業栽培マニュアル・事例集の作成					
	(1) 有機農業栽培指針の策定	土壌・環境チーム、病害虫チーム、茶業チーム、水田G、果樹G	各グループ	H22～24	県単
7 園芸戦略品目の総合的土壌管理手法の確立					
1) 土壌物理性の診断法検討					
	(1) トマト、(2) ピーマン、(3) 小ネギ、(4) ニラ	土壌・環境チーム	関係振興局、各品目PT班	H21～24	県単
2) 有機物の診断方法検討					
	(1) 肥料養分の迅速診断技術	土壌・環境チーム		H21～24	県単
8 水耕養液の長期利用技術の確立					
1) みつばにおける循環型養液栽培モデルの検証					
	(1) 養液成分の動態調査および養液管理ソフトの改良	土壌・環境チーム	中部局、豊肥局	H24～25	県単
	(2) 養液中の有機酸除去技術の開発	〃	中部局	H24	〃
9 根深ネギの大規模経営体のための周年安定生産技術の確立					
1) 平坦地での秋冬ネギの安定生産技術の確立					
	(1) セル大苗利用による秋冬ネギ安定生産技術 現地試験	ネギ類チーム	北部局	H24～26	県単
	(2) セル大苗利用による秋冬ネギ安定生産技術 場内試験	〃	北部局	〃	〃
	(3) 品種及び煎葉が初期生育に及ぼす影響	〃	北部局	〃	〃
2) トンネル被覆栽培での5月収穫ネギの追肥・かん水技術の確立					
	(1) トンネル被覆開始時期が生育、収量に及ぼす影響	ネギ類チーム	北部局	H24～26	県単
	(2) 追肥とかん水が生育、抽だい、収量に及ぼす影響	〃	北部局	〃	〃

試験研究課題名					担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題	1) 小課題	(1) 試験項目					
10	大分ブランド高品質カンショ	「甘太くん」の安定生産技術の確立						
	1) 栽培管理技術							
	(1) 土壌理化学生改良技術の確立		ネギ類チーム	土壌・環境チーム、中部局、豊肥局、九沖農研センター	H24～26		県単	
	2) 貯蔵管理技術							
	(1) 糖度安定向上技術の確立 ①低温処理		ネギ類チーム	中部局、豊肥局、九沖農研センター	H24～26		県単	
	(1) 糖度安定向上技術の確立 ②糖度測定法		〃	〃	H24～26		〃	
	(2) 腐敗果軽減技術		〃	〃	〃		〃	
	(3) 低温遭遇時間		〃	〃	H24～26		〃	
11	イチゴのうどんこ病とクロバネキノコバエ類の防除対策							
	1) うどんこ病の予防体系の確立							
	(1) 無病苗の選抜法の確立		病害虫チーム		H24～26		県単	
	(2) 防除判定基準の設定		〃	各振興局	〃		〃	
	(3) 有効薬剤の選定		〃		長期		委託	
	2) クロバネキノコバエ類の防除対策							
	(1) 発生実態調査		病害虫チーム	東京大学、各振興局、イチゴチーム	H24～26		県単	
	(2) 有機質資材調査		〃		〃		〃	
	(3) 有効薬剤の探索		〃		〃		〃	
12	病害虫発生予察事業							
	2) 発生予察技術支援対策							
	(1) ウイルス保毒虫、薬剤抵抗性害虫の検定		病害虫チーム	各振興局	H22～24		県単、一部国庫	

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題	1) 小課題	(1) 試験項目		
13	農薬残留特殊調査 (マイナー作物への登録拡大)	土壌・環境 チーム、病 害虫チーム	中部局、北 部局、西部 局	H22～24	県単、一部 国庫
14	根深ネギに突発的に発生するネダニ類の防除対策				
	1) 発生実態調査				
	(1) 発生種、発生消長調査	病害虫チー ム	各振興局	H24～26	県単、一部 委託
	(2) ネダニ類発生圃場における軟腐病発生実態調査	〃	〃	〃	〃
	3) 防除技術の確立	〃	〃	〃	〃
	③力強い担い手を育成するための技術開発				
15	新需要に対応した新たな茶生産技術の確立				
	1) 既存園における高位安定生産のための整・剪枝技術の確立				
	(1) 秋・春整枝時期による作期分散技術	茶業チーム		H19～24	県単
	(3) 主要品種の秋摘み茶生産技術	〃		〃	〃
	2) ドリンク茶等新規造成茶園における新品種の安定多収技術の確立				
	(1) 多収品種の施肥効率の改善	茶業チーム	中部振興局、 土壌・環境 チーム、実需 者	H19～24	県単
	(2) 新植茶園の気象データの収集	〃		〃	〃
	④地球温暖化・環境対策等の技術開発				
16	チャの難防除害虫の効率的な防除技術の確立				
	1) 難防除害虫に対する発生予測と防除技術の確立				
	(1) チャトゲコナジラミの発生予測と防除技術の確立				
	① 発生消長調査	茶業チーム	東部振興局	H23～25	県単
	② 防除薬剤、防除時期の検討	〃	東部振興局	〃	県単一部委 託
	(2) クワシロカイガラムシのふ化予測技術の確立				
	① 茶園内での気温とふ化率の変化	茶業チーム	東部、北 部、中部、 豊肥局	H23～25	県単
	② 現地茶園温度データ採取	〃	〃	〃	〃
	2) 越冬害虫の密度低減技術の確立				
	(1) 秋期防除・せん枝によるチャノホソが越冬密度低減技術	茶業チーム		H23～25	県単
	(2) 秋期防除・せん枝によるウスミドリカスミガメ越冬密度低減技術	〃		〃	〃
	3) 薬剤感受性低下に対応した防除技術の確立				
	(1) カンザワハダニに対する各種薬剤の検定	茶業チーム	病害虫チー ム	H23～25	県単
	(2) チャノキイロアザミウマに対する各種薬剤の検定	〃	〃	〃	〃

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
17 高温基調下での気象変化に対応したトマトの安定出荷技術				
1) 生理障害軽減のための気象状況(予測)を考慮した灌水技術				
(1) 生理障害回避のための要因分析(夏秋地帯)(水管理)	トマト・ピーマンチーム		H23～25	県単
(2) 生理障害回避のための要因分析(夏秋地帯)(赤採りトマト)	〃	豊肥局、西部局	〃	〃
2) 出荷量平準化技術と出荷予測システムの開発				
(1) 前期作型(半促成) + 後期作型(抑制) 技術の確立	トマト・ピーマンチーム		H23～25	県単
(2) 出荷予測のための条件設定	〃	豊肥局、西部局	〃	〃
3) 一段密植栽培における出荷平準化技術				
(1) 高温期の着果安定(品種比較)	トマト・ピーマンチーム		H23～25	県単
(2) 高温期の着果安定(専用組成、二段取り)	〃		〃	〃
(3) 栽培ベットの改良	〃		〃	〃
18-1 西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立				
1 温暖化に対応した栽培技術の確立				
1) 高温対策技術の開発				
(1) 合理的なかん水方法の確立	トマト・ピーマンチーム	土壌・環境チーム	H24～26	県単
(2) 初期生育における保水資材の活用方法の確立	〃	〃	〃	〃
(3) 高温耐性品種の選定	〃		〃	〃
2) 防虫ネット全面展張方法の改良	〃	病害虫チーム	〃	〃
18-2 西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立				
2 温暖化等気象変動に対応した夏秋ピーマンの水・肥培管理技術の確立				
1) 気象変動に対応した水管理技術の検討				
(1) 生育ステージに応じた適正な水管理条件の検討	土壌・環境チーム	トマト・ピーマンチーム	H24～26	県単
(2) 各産地における水管理実態調査	〃	トマト・ピーマンチーム、ピーマンPT班	〃	〃
2) 気象変動に対応した肥培管理技術の検討				
(1) スターター肥料と緩効性被覆肥料組み合わせの検討	土壌・環境チーム	トマト・ピーマンチーム	H24～26	県単

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
18-3 西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立 3 夏秋ピーマンにおいて近年顕在化したタバコガ類と白絹病に対する防除技術の確立				
1) タバコガ類の防除対策				
(1) タバコガ類種構成調査	病害虫チーム	トマト・ピーマンチーム、広域普及指導班、中部、豊肥、西部局、JA大分	H24～26	県単、一部国庫
(2) 越冬実態の解明	〃	〃	〃	〃
(3) 有効な薬剤の探索	〃	〃	〃	〃
(4) 防除適期の把握				
①数値に基づいた発生予察手法の確立				
ア) タバコガ有効積算温度とトラップ誘殺数の関係	病害虫チーム	トマト・ピーマンチーム、広域普及指導班、中部、豊肥、西部局、JA大分	H24～26	県単、一部国庫
②総合防除対策の確立				
ア) 防虫ネット展張ハウスでの総合防除対策	病害虫チーム	トマト・ピーマンチーム、広域普及指導班、中部、豊肥局、JA大分	H24～26	県単、一部国庫
2) 白絹病の防除対策				
(1) 発生生態の解明	病害虫チーム	中部局	H24～26	県単
(2) 防除技術の確立	〃	〃	〃	〃
19 環境負荷を低減する低コスト施肥技術の開発				
1) 土壌由来温室効果ガス・土壌炭素調査事業	土壌・環境チーム	全振興局、家畜衛生飼料室	H20～24	国庫委託(一部県単)
<b>II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立</b>				
イチゴのウイルスフリー苗の育成	イチゴチーム	病害虫チーム	長期	県単
カンショの茎頂培養によるウイルスフリー苗とサトイモ優良種苗保存育成	〃	ネギ類チーム	〃	〃
カンショの品種選定	ネギ類チーム	九州沖縄農業研究センター	〃	〃
茶の品種選定	茶業チーム	(独)野茶研、各県茶試験場	〃	〃



#### 4. 研究成果等の公表及び情報発信

##### (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
大分の有機栽培（基本技術・研究成果・事例集）	H25. 3. 21	145	一
ドリンク茶栽培マニュアル	H25. 3. 29	10	20
大分県農林水産研究指導センター研究報告（農業研究部編）第3号	H25. 3. 31	30	150

##### (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載項
安部貞昭、佐藤如、戸井田雄一、山崎真居	炭酸ガスの午前午後施用がイチゴ‘さがほのか’の生育、収量、品質に及ぼす影響、	園芸学研究	第11巻別冊2	181
安部良樹	トルコギキョウのSSRマーカーの開発と品種内多型の解析	九州農業研究発表会専門部会発表要旨集	第75回	155
上谷麻梨恵	高温対策事例 夏秋トマト	「福岡の野菜」	平成25年春季号	14-15
岡崎真一郎、玉嶋勝範、雨川公洋ら	夏秋ピーマンにおけるスワルスキーカブリダニの主要微小害虫に対する防除効果と硫黄粉剤畝上散布が密度に及ぼす影響	九州病害虫研究研究会報	58	66-72
奥田しおり、岡崎真一郎ら	Competence of <i>Frankliniella occidentalis</i> and <i>Frankliniella intonsa</i> strains as vectors for <i>Chrysanthemum stem necrosis virus</i>	European Journal of Plant Pathology	136(2)	355-362

##### (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24. 3. 27	第57回日本応用動物昆虫学会	岡崎真一郎	ネオニコチノイド系薬剤に対して感受性低下したワタアブラムシの初確認
H24. 3. 27	第57回日本応用動物昆虫学会	加藤幸太郎、能見伊久絵、岡崎真一郎	施設イチゴにおけるクロバネキノコバエ類成虫の発生消長調査に有効な黄色粘着シートの選定
H24. 8. 28	園芸学会九州支部	姫野和洋	夏秋ピーマンにおけるかん水方法が尻腐れ果の発生に及ぼす影響
H24. 8. 28	園芸学会九州支部	上谷麻梨恵	夏秋トマトの簡易果房遮光及びUVカットフィルムによる裂果軽減効果

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24. 9. 12	九州・沖縄マッチングフォーラム (ポスター展示)	祖田嘉教	ピーマン軟腐病の発生生態と防除対策
H24. 9. 13	平成24年度九州沖縄農業研究発表会 野菜・花き部会	安部良樹	トルコギキョウのSSRマーカーの開発と品種内多型の解析
H24. 9. 22	園芸学会平成24年秋季大会	安部貞昭	炭酸ガスの午前午後施用がイチゴ‘さがほのか’の生育、収量、品質に及ぼす影響、
H24. 11. 14	第82回九州病害虫研究会秋季大会	小野元治、武政彰、和田志乃、岡崎真一郎	ダイズの子実加害性カメムシ類に対する主要薬剤の防除効果
H24. 11. 14	第82回九州病害虫研究会秋季大会	岡崎真一郎	近年大分県の夏秋ピーマンで多発生するワタアブラムシに対する各種薬剤の殺虫効果
H25. 1. 30	平成24年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き部会	手嶋 康人	根深ネギの中間値での5~6月収穫に向けた品種及び抽だい抑制技術の確立
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	小野元治、祖田嘉教	大分県内の根深ネギで採集されたネダニモドキ属の一種に有効な薬剤
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	後藤英世、岡本潤、鈴木智範	イチゴうどんこ病の近年の発消長と夏期高温育苗による防除効果
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	岡本潤、雨川公洋	大分県におけるQoI剤耐性イネいもち病の発生
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	雨川公洋、大坪亮介、山崎修一	果実各部位に対するピーマン軟腐病の発病リスクの検討
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	祖田嘉教、岡崎真一郎、小野元治	根深ネギにおける植物病原菌類に対するネダニ類の選好性
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	鈴木智範、岡本潤、祖田嘉教、吉松英明	大分県におけるダイズ紫斑病耐性菌の発生実態
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	加藤幸太郎、和田志乃、小野元治	大分県におけるイチゴのナミハダニに対する各種薬剤の殺虫効果
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	上島慧里子、岡崎真一郎、玉嶋勝範	夏秋ピーマンにおけるタバコガ類の発生予察基準策定に向けた取り組み
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	玉嶋勝範	大分県におけるナシマダラメイガの発生時期

#### (4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
発生予察委託事業中間検討会	H24. 9. 27	国民宿舎久住高原荘	1	28
研究紹介	H25. 2. 15	大分市コンパルホール	1	100
土壌肥料・病害虫に関する研究会	H25. 3. 15	豊後大野市 きのこセンター	2	200

### 5. 研究成果の普及、技術指導

#### (1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H24. 6. 6	玖珠九重地区夏秋ピーマン生産者研修会	JA玖珠選果場	40	西部振興局
H24. 6. 14	野津町茶生産組合かぶせ茶研修会	農業研究部	8	野津町茶生産組合
H24. 7. 5	いちご生産者協議会研修会	農業文化公園	150	
H24. 7. 6	本匠因尾茶生産組合茶園管理講習会	佐伯市因尾	15	因尾茶生産組合
H24. 7. 6	大分県野菜生産者協議会トマト部会研修会	JAおおいた臼杵事業部	20	大分県野菜生産者協議会トマト部会
H24. 7. 18	大分県茶品評会	農業研究部	2	大分県茶業協会
H24. 7. 26	大分県茶業協会紅茶研究会	農業研究部	11	大分県茶業協会
H24. 8. 2	ピーマン園芸技術者協議会研修会	農業研究部	30	園芸技術者協議会
H24. 8. 7	大分県茶業協会紅茶研究会加工研修	農業研究部	10	大分県茶業協会
H24. 8. 22	大分県園芸技術者協議会イチゴ研修会	全農おおいた	30	
H24. 8. 28	緒方茶生産組合研修会	豊後大野市緒方町	8	緒方茶生産組合
H24. 8. 28	専門能力強化研修（土壌肥料基礎）	豊後大野市	8	研究普及課
H24. 9. 11	専門能力強化研修（土壌肥料応用）	豊後大野市	8	研究普及課
H24. 9. 20	茶業青年会一番茶作柄検討会	農業研究部	9	大分県茶業青年会
H24. 10. 12	第1回「北部地域白ねぎ若手生産者勉強会	豊後高田市 呉崎公民館	20	北部振興局
H24. 10. 15	トマト園芸技術者協議会研修会	竹田市ほか	30	園芸技術者協議会
H24. 10. 15	園芸技術者協議会白ネギ研修会	大分市	21	大分県園芸技術者協議会
H24. 10. 30	大分県園芸技術者協議会イチゴ研修会	農業研究部	30	
H24. 11. 16	サニープレイスファーム支援会議	佐伯市	10	南部振興局
H24. 11. 21	ピーマンプロ班土壌物理性調査研修会	野津町、竹田市 市現地ほ場	10	ピーマンプロ班、JA
H24. 11. 30	最新の病害虫に関する研修会	三重総合高校	20	学校教育課
H24. 12. 12	JAみどりトマト部会荻支部反省会	竹田市	100	JAみどりトマト部会
H24. 12. 12	豊後高田市市民園芸講座土づくり研修会	豊後高田市	58	豊後高田市
H24. 12. 13	施肥・防除対策研修会	農業文化公園	150	おおいたブランド推進課
H24. 12. 18	ドリンク法人研修会	農業研究部	22	園芸振興室、伊藤園農業技術部

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H25. 1. 24	ピーマン園芸技術者協議会研修会	豊後大野市	25	園芸技術者協議会
H25. 1. 24	大分県園芸技術者協議会ピーマン研修会	農林水産研究 指導センター	30	園芸振興室
H25. 1. 25	白ネギ若手生産者研修会	豊後高田市	20	北部振興局
H25. 1. 29	トマト園芸技術者協議会研修会	杵築市	26	園芸技術者協議会
H25. 2. 1	平成24年度（株）伊藤園品質管理研修会	県庁	51	伊藤園農業技術部
H25. 2. 19	ピーマン生産者協議会研修会	豊後大野市	200	生産者協議会
H25. 2. 19	大分県野菜生産者協議会ピーマン部会研修会	豊後大野市	200	大分県園芸技術者協議会ピーマン部会
H25. 2. 21	大分県園芸技術者協議会全員研修会野菜分科会	大分県教育会館	50	
H25. 2. 26	農薬指導士認定研修	大分県教育会館	100	おおいたブランド推進課
H25. 2. 27	平成24年度農業高校生チャレンジ支援事業（外部講師招聘授業）	佐伯市	9	大分県立佐伯鶴岡高等学校
H25. 5. 11	ピーマン防虫ネット展張実証	臼杵市	25	園芸技術者協議会
H25. 6. 6	JA玖珠九重ピーマン部会現地研修会	玖珠町	30	JA玖珠九重ピーマン部会
H25. 6. 15	ハーブレイスファーム支援会議	佐伯市	15	南部振興局

(2) 受入研修

①長期研修者受入           なし

②生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	35	325
団体等職員	11	15
普及指導員	55	142
学生	2	41
海外研修者	0	0
その他	15	41

(3) 指導・研修プロジェクトの実証           なし